

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	児童発達支援ルーム わかな			公表日	2026年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		活動に合わせスペースを区切っている	もう少し広いとよい
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		子供の人数に合わせている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	視覚化でわかりやすくしている	活発な子供が多いので床をクッションフロアに変えるとよい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の掃除、玩具等の点検 勉強と活動スペースを分けている	集中できる他の音が入らない部屋があるとよい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	個室でクールダウンや、落ち着いて活動できるように配慮している	個室が2, 3室あるとよい
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	会議で意見交換をし情報を共有している	目標を明確にし職員が同じ目標に向かうようにする
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者とは送迎時、メール等で意向を把握し改善する努力をしている	評価表について会議で話し合い改善につなげていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		会議等で意見交換し改善点を見直している	会議などで共通理解を深めていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	第三者の外部評価は行っていないが、関わりのある評価はしている	第三者による評価を行うようにする
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修を受講したり、会議等で研修を行っている	研修の質を上げ、職員一人ひとりにも意識を高めてもらえるようにする
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページに記載	プログラムを見直し改善していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		家庭訪問をしニーズの確認を行っている	子供の成長に合わせて、保護者へ聞き取りを行い作成する
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	会議等で意見交換をし共通理解をした上で 行っている	一人ひとり子供の特性を職員間で共有理解する
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	職員間で話し合いや会議等で共有してもらっている	職員間で共有していく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	多方面から観察し、毎日の支援の中での変化を確認している	様々な状況に対応できるよう確認していく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	支援内容を設定しているが、職員との連携が出来ていないので会議等で共有している	子供に必要な項目を職員間で共通理解をし支援内容を設定していく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	毎日行っているが広く理解してもらうため話し合い、会議で共有している	色んな意見も取り入れる
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	子供たちの意見を尊重しながら工夫している	様々な方面に目を向けていく

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	子供の状況に合わせて支援するよう努めている	集団活動ができる工夫をしていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	役割は場合によるが、事前の打ち合わせで決めたことを就業前に伝えている	職員全員が行える支援法を考える
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	毎日就業後、振り返りを行い共有している	職員間で連携し共通認識できるよう話し合いをする
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	iPadに記録している	支援の検証、改善につなげていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	保護者から聞き取りを行い、見直しを図っている	モニタリングの頻度を上げていく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	担当者が参画している	職員も共有する
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	特定の医療とは連携している 保育園等では話を聞き連携できるよう努めている	保育園等との連携を深くし支援する体制を整える
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	送迎などの際、先生と情報共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		保護者と学校とで情報共有をする
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	外遊びの公園などで一緒に活動するときがある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時、メールや電話などで状況などを共通理解をしている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			情報提供を行っていく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		家庭訪問などで意向を確認している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		説明を行い同意を得ている	成長とともに変化するので説明する
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		職員や周りの機関と話し合いをし支援している	定期的に面談を行う

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	年1回のイベントで設けている	予定の調整が難しい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		その都度対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページを載せている	保護者に対して発信が不十分
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		安全な場所に保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		一人ひとりに合わせて配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		地域へも積極的に働きかけたほうが良い
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアルがあり訓練は行っている	頻度を増やす
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		避難マップに従って行っている	頻度を増やす
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		事前に情報確認をしている	職員間で再確認をおこなう
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		常に気を付け対応している	職員間で再確認をおこなう
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		常に気を付け支援している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		家族に理解してもらっている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	再発防止のために話し合っている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	研修で学んだことを適切な対応で実施している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	研修を行っている		